



4 株式会社エストレジャ(みつばち薬局)

地域住民のための健康サポート事業

計画達成度
100%

団体・法人データ
代表者：星 瑞江
構成人数7名
活動歴2年
主な活動地：プラサヴェルデ、みつばち薬局
HP：<https://mitsu8-yakkyoku.com/>
Mail mitsu8@cathrne.jp

事業目的

近年高齢化社会を迎えた中で、多くの方々が自身の健康について高い関心を持っている。しかし、自発的に生活習慣の改善を行っている方は多いものの、正確な情報に基づく対策ではないケースが多い。
そこで、本事業では、地域住民の方々が気軽に健康相談ができる場として、当薬局内に「よろず健康相談窓口」を設置し、自身の健康等について不安を抱える方々に対して、専門家の立場から適切な助言や支援を行い、健康に関する正しい知識と意識啓発の普及を図る。
また、健康運動指導士による「健康運動教室」を開催し、効果的な運動方法を体験型の講義により啓発することで、地域住民の生活習慣病の予防、健康水準の保持・増進を図る。
併せて、DVや性被害により緊急避妊薬が必要な方へ薬を提供する体制の整備も実施する。

現状と目標

当薬局を利用されている患者様から、健康に関する不安や悩みについて相談を受けることが多く、地域においても潜在的に健康不安を抱える方々が多いのではないかと感じている。
厚生労働省の「患者のための薬局ビジョン」においても、「門前から地域へ」という方向性が示されており、薬局には、患者様へ処方薬について説明し、ご質問にお答えし、薬を手渡すといった従来の機能に加え、地域包括ケアシステムの一員として健康相談に対応するなど、地域住民の健康を総合的にサポートしていくことが求められている。
これまで、当薬局では処方する薬に関する相談だけでなく、一般的な健康相談にも応じていたが、あらためて「よろず健康相談窓口」を設置・周知し、患者様が気軽に薬局に立ち寄ることができる体制の整備を行うとともに、体験型の健康運動教室を市内で開催する。
また、市内には緊急避妊薬が提供できる薬局が少ないことから、早急に提供体制を整備する。



活動と成果

令和3年4月 よろず健康相談窓口設置

薬のことだけでなく、健康相談にも対応している窓口があることを周知等したことで、来局頻度が増加し、これまで以上に患者様の状態を把握できるようになり、地域住民の健康増進に寄与することができた。

令和3年9月23日 健康運動教室開催(日本健康運動指導士会講師招聘)

運動教室はプラサヴェルデで開催し、63名が参加した。
普段運動不足の方でも気軽に参加できるよう、椅子を活用した運動方法を取り入れ、参加者には運動前に自身のからだの状況を把握していただいた後、健康運動指導士から効果的な運動の仕方を実演形式で説明した。
参加者からは、「今まで行ってきた運動が効果的でなく、自分のからだの状況を把握してから運動することがより効果的な運動につながるということが分かった。参加して非常に良かった。」との感想が寄せられた。
また、運動教室参加者の来局頻度が増加し、よろず健康相談窓口を利用することで相乗効果が得られた。

令和3年4月 緊急避妊薬提供の体制整備

提供実績 5件(令和4年3月末時点)



振り返り課題

- 健康相談窓口の設置、健康運動教室の開催により、気軽に当薬局で健康相談ができることの周知、認知がなされたが、地域包括ケアシステムの一員として地域住民の健康を総合的にサポートする「健康相談薬局」となるため、門前薬局を超えた機能に関してさらなる周知が必要である。
- 健康運動教室に関しては、患者様の意向を踏まえたテーマ設定、テーマに応じた講師の招聘、関係機関との連携が必要である。
- 緊急避妊薬の提供について、提供体制は整ったがそのことの周知が不十分である。SNSや広告等による周知活動を本格化し、関係機関とも連携し患者様へのサポートに注力していく。

関連図

